

10 - 3 九州南部の地震活動 (2005 年 5 月～ 2005 年 10 月)

Seismic Activity in the Southern Kyushu District (May, 2005-October, 2005)

鹿児島大学 理学部

Faculty of Science, Kagoshima University

2005 年 5 月～ 2005 年 10 月の期間に震源決定された地震の 1 ヶ月毎の震央分布を第 1～6 図に示す。さらに、第 7 図には 2005 年 5 月～ 2005 年 10 月に発生した主な地震のメカニズム解を示す。

この期間に九州南部で発生した最も規模の大きな地震は、5 月 31 日 11 時 04 分に日向灘南部（都井岬付近）の深さ 28km で発生した M5.8 の地震で逆断層解が得られた（第 7 図の A）。この余震は少なく、発生後 1 ヶ月の期間にこの付近に震源決定できた地震は 12 個にとどまった。最大余震は 6 月 12 日 13 時 07 分に発生した M4.2 で、深さ 37km に決定された。

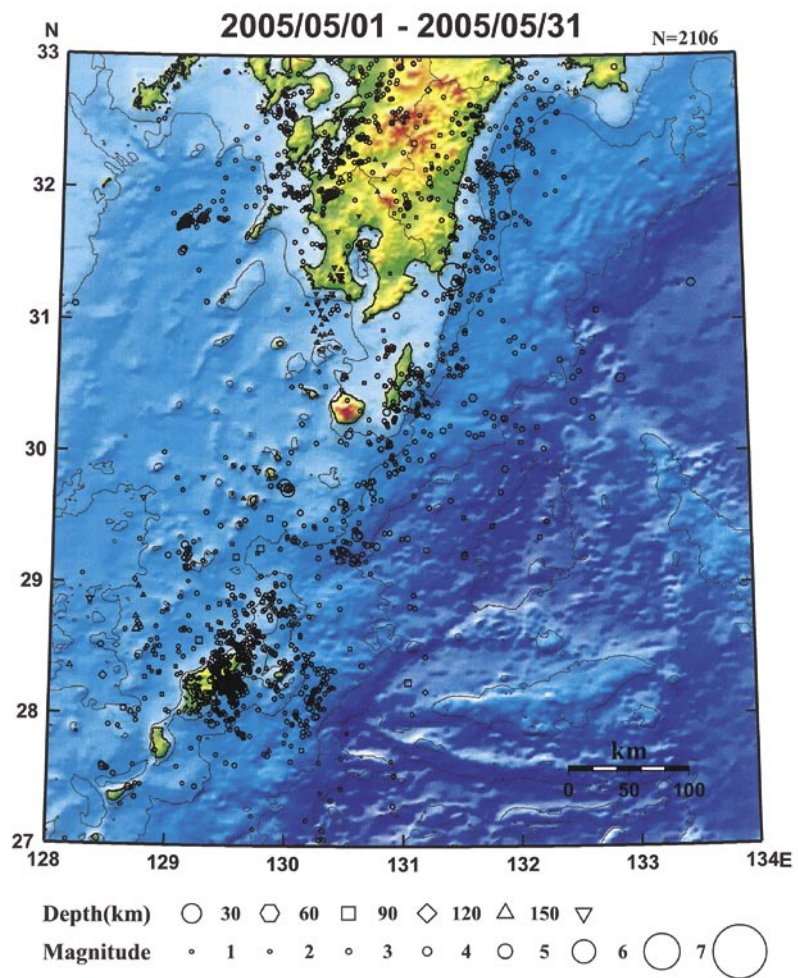
この他、日向灘中部から南部にかけての海域で発生した地震のうち M4.0 以上の地震は、5 月 12 日 04 時 22 分の M4.9（深さ 39km）、6 月 27 日 02 時 16 分の M4.4（深さ 50km）、8 月 16 日 16 時 47 分の M4.0（深さ 32km）であった。

内陸では M3.0 以上の浅発地震は発生せず静穏であったが、1997 年鹿児島県北西部の震源域では期間を通じて余震活動が継続した。

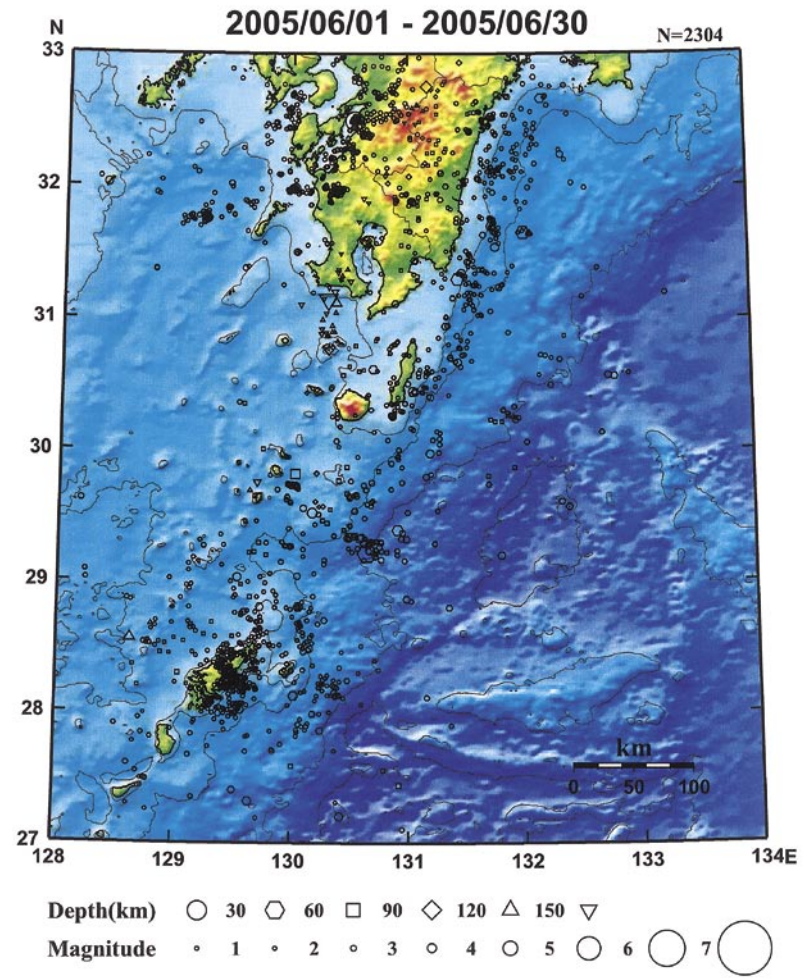
種子島、屋久島以南の南西諸島領域では、6 月 14 日 20 時 07 分に奄美大島北東沖の深さ 35km で発生した M5.1 の地震が最大であった。種子島東方沖では 9 月 5 日 14 時 42 分に M4.3（深さ 29km）の地震が発生した。中之島付近では 5 月 27 日 18 時 31 分に M4.1（深さ 15km）、同日 18 時 50 分に M4.4（深さ 13km）の地震が発生した。

また、奄美大島周辺領域では期間を通じて地震活動が継続した。このうち、奄美大島周辺海域で発生した M4.0 以上の地震は、7 月 3 日 23 時 14 分の M4.0（深さ 67km、第 7 図の D）、6 月 29 日 21 時 18 分の M4.0（深さ 32km、第 7 図の B）、10 月 25 日 22 時 28 分の M4.0（深さ 15km、第 7 図の H）であった。10 月 29 日 22 時 25 分の地震は、10 月 22 日 17 時に活動が始まった群発地震活動の最大地震である。この活動域に、10 月 31 日までの期間で約 900 個の地震の震源を決定した。

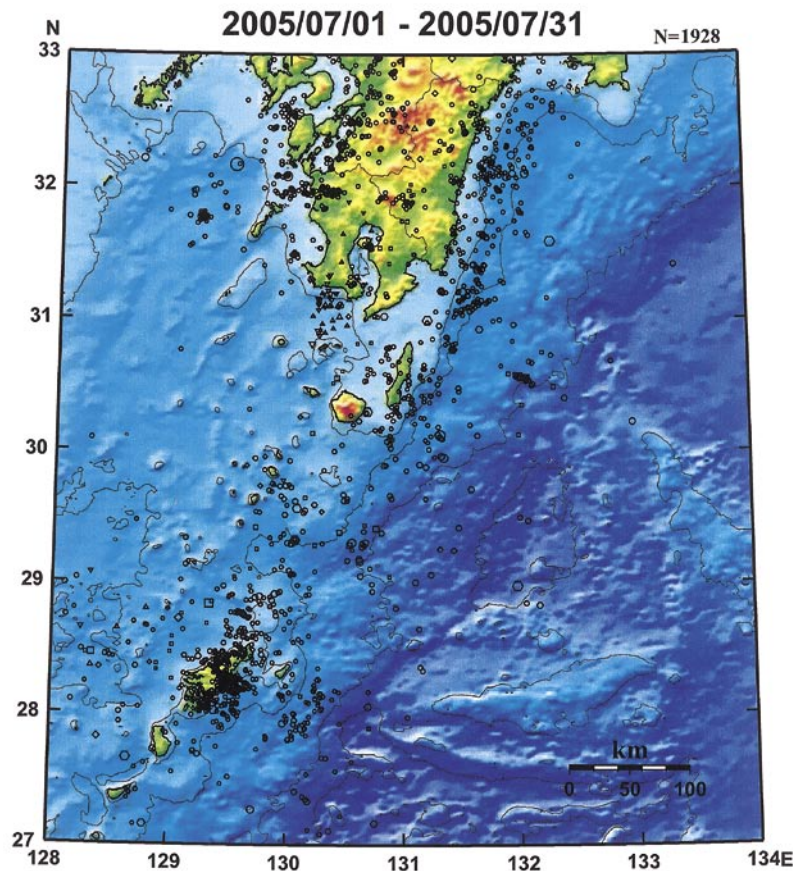
九州南部におけるこの期間の活動は全体的には静穏であったが、奄美大島周辺領域ではやや活発であった。



第1図 震央分布(2005年5月)
 Fig.1 Epicenter Distribution (May, 2005).

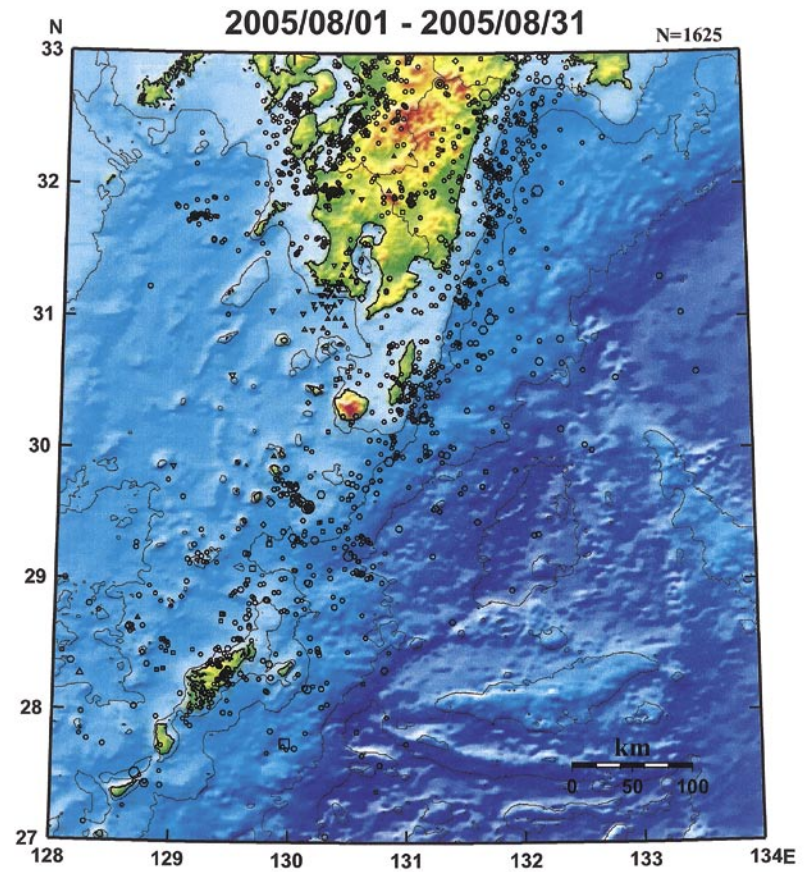


第2図 震央分布(2005年6月)
 Fig.2 Epicenter Distribution (June, 2005).



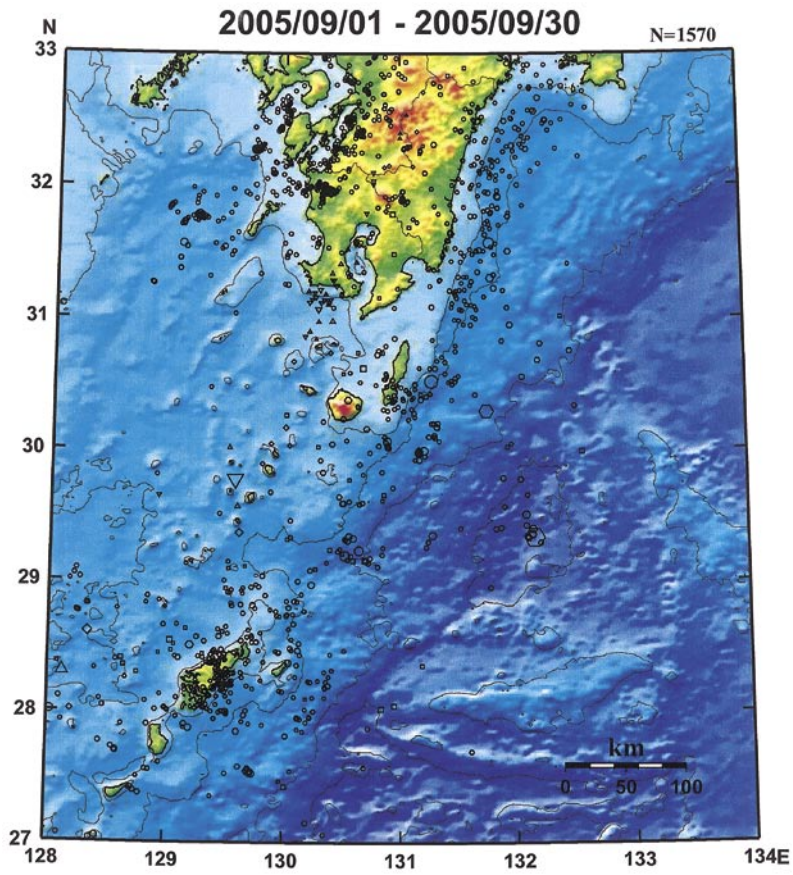
Depth(km) ○ 30 ◻ 60 ◻ 90 ◊ 120 △ 150 ▽
 Magnitude • 1 • 2 • 3 • 4 • 5 ○ 6 ○ 7 ○

第3図 震央分布 (2005年7月)
 Fig.3 Epicenter Distribution (July, 2005).



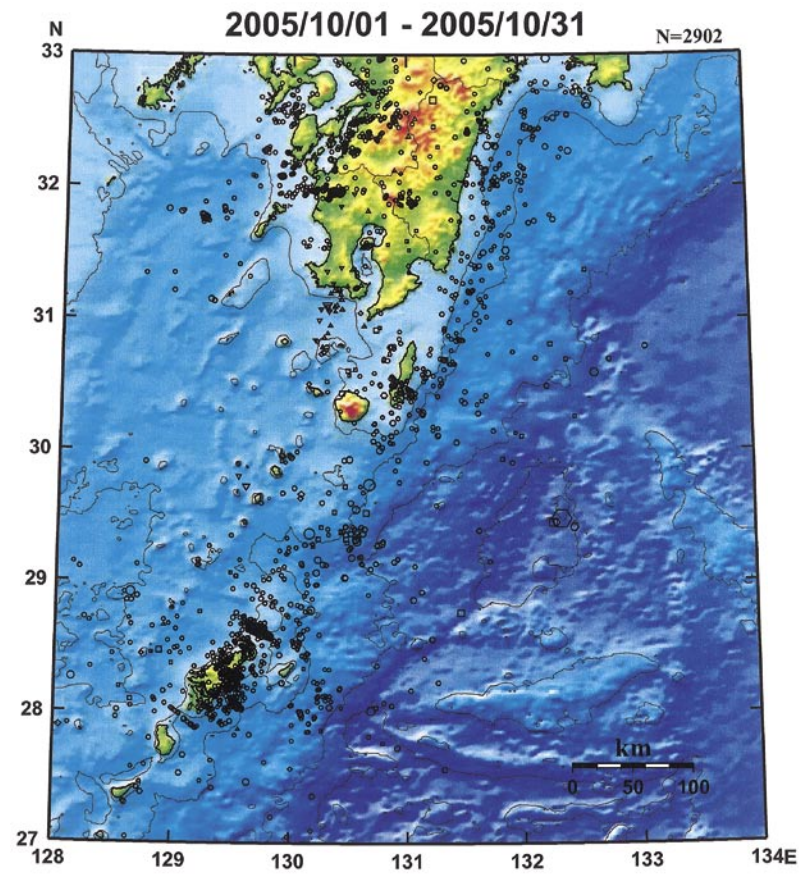
Depth(km) ○ 30 ◻ 60 ◻ 90 ◊ 120 △ 150 ▽
 Magnitude • 1 • 2 • 3 • 4 • 5 ○ 6 ○ 7 ○

第4図 震央分布 (2005年8月)
 Fig.4 Epicenter Distribution (August, 2005).



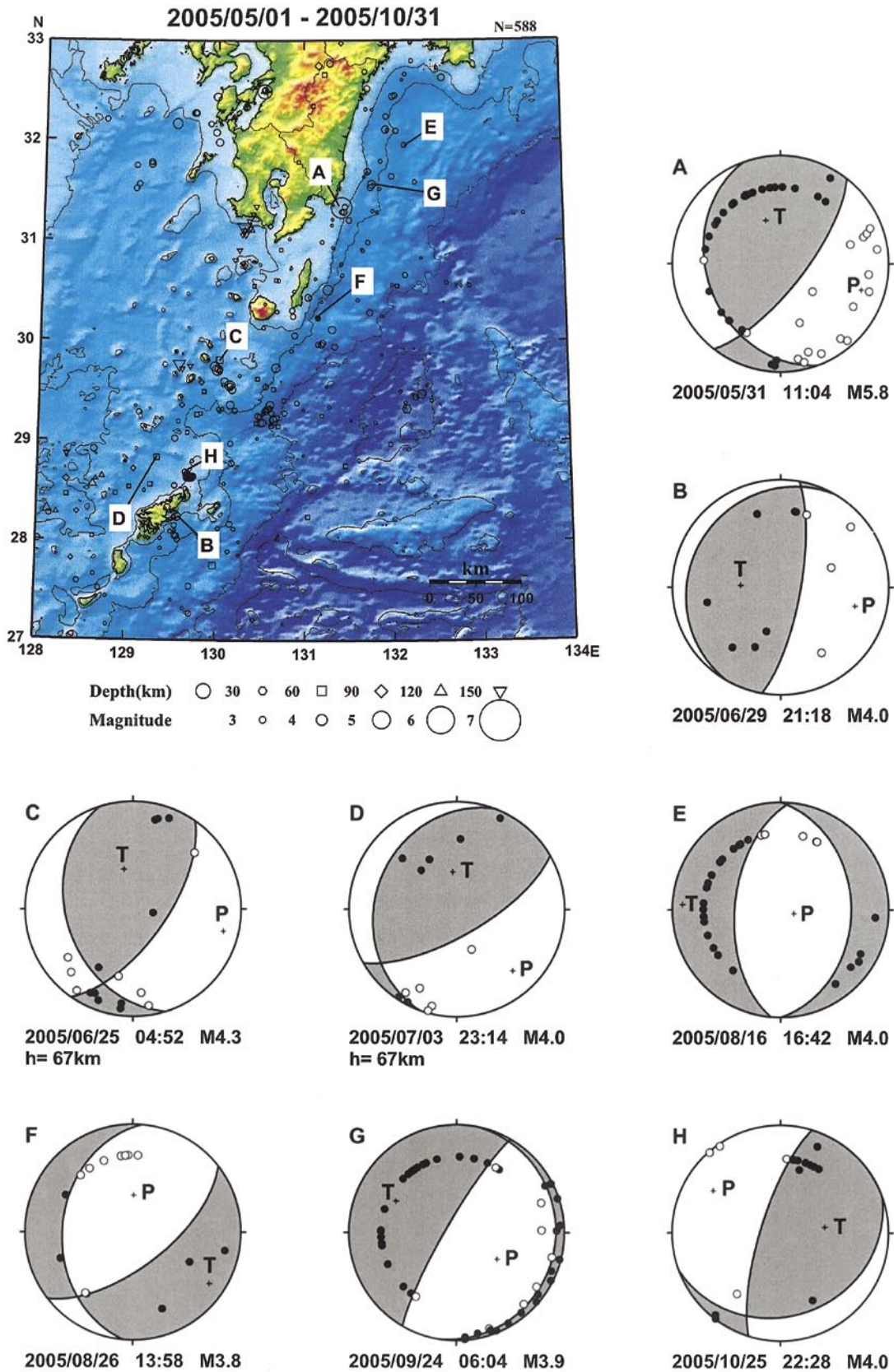
Depth(km) ○ 30 ◡ 60 ◻ 90 ◊ 120 △ 150 ▽
 Magnitude · 1 · 2 · 3 · 4 · 5 · 6 · 7

第5図 震央分布(2005年9月)
 Fig.5 Epicenter Distribution (September, 2005).



Depth(km) ○ 30 ◡ 60 ◻ 90 ◊ 120 △ 150 ▽
 Magnitude · 1 · 2 · 3 · 4 · 5 · 6 · 7

第6図 震央分布(2005年10月)
 Fig.6 Epicenter Distribution (October, 2005).



第7図 主な地震のメカニズム解(2005年5月～2005年10月, 下半球等積投影)
 Fig.7 Focal Mechanism Solutions of Major Earthquakes (May, 2005-October, 2005, Equal Area Projection on the Lower Hemisphere).